

市の名称（案）

市の名称は、「長久手市」とする。

- ・「長久手」の地名は、小牧・長久手の戦いで全国的に知られており、同戦いと同時期の天正年間(1573～1593年)に書かれた検地帳ですでに「長くての郷」の名が見えるなど、古くから使用されている。
- ・明治39年に現在の行政区域の「長久手村」が誕生し、昭和46年4月1日に町制施行した折にも、この名称は継続され、自治体名として100余年間、「長久手」の名称が続いている。
- ・2005年日本国際博覧会では本町がメイン会場となり、「長久手」の名は国内外に広く喧伝された。
- ・平成以降、単独で市制施行した団体の新市名は、他県の市と同一名称となることを避けた団体の事例を除き、すべて旧町村名をそのまま市名にしている。
- ・「長久手」という市町村名は、全国に一つしかない名称である。
- ・住民の意向は、「長久手市」が最も望ましいとした意見が86.1%と多数を占めている。